

6年目のトランプ政権 —金融、外交、内政を問う

溜池通信代表、エコノミスト
吉崎達彦



- * 明るみになった「ドンロー（貪狼）主義」の衝撃
- * 1823年の地図からわかるアメリカのDNA
- * 南北の結節点から発想する「フロリダ政権」
- * 26年は米中会談が目白押し
- * トランプ支持率が落ちた3つの理由
- * 鍵を握る保守6、リベラル3の最高裁判事
- * トランプ関税に違法判決が出たらどうなる
- * ドル安進行と次期FRB議長の任命
- * 「ドンロー主義」に思考停止状態の日本
- * トランプを止められるのは誰か

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日はエコノミストの吉崎達彦様をお迎えしました。吉崎さんは『東洋経済オンライン』に「かんべえ」という筆名で長く人気コラムを書いていらっしやいます。前半が国際問題を中心に分析されて、後半にその時々の競馬レースについての評論もついています、たいへん人気のあるコラムで、実は2012年からずっとお書きいただいています。たぶん2012年からずっと書いていただいている方はそうはいらっしゃらないと思います。

吉崎さんは一橋大学の社会学部を出た後、日商岩井に入られました、途中、アメリカのブルッキングス研究所の客員研究員もなさり、その後経済同友会の代表幹事の秘書・調査役をなさ

いました。その当時の代表幹事は日銀総裁にられた速水優さんでした。秘書・調査役として活躍されました、日商岩井がニチメンと合併した後は双日総合研究所のチーフエコノミストとしてご活躍になって、皆さんもいろいろな場所で吉崎さんの話をお聞きになったことがあると思います。

その後、昨年11月に独立されまして、今は溜池通信の代表取締役として活躍されています。溜池通信は、商社に在職中の1999年からずっと持続的に書いていらっしやいます。これは無料だそうですので、皆さんもご関心があれば、今日の講演の後、溜池通信のほうも見ていただければと思います。

本日は「6年目のトランプ政権」金融、外交、